



2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年3月12日

上場会社名 HEROZ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4382 URL https://www.heroz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 隆弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浅原 大輔 TEL 03(6435)2495
 四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の業績（2020年5月1日～2021年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	1,127	0.5	258	△30.6	215	△33.7	206	△23.5	140	△23.7
2020年4月期第3四半期	1,121	7.8	372	△8.1	324	△13.5	270	△27.0	184	△27.9

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 ー百万円 2020年4月期 ー百万円

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	9.42	9.28
2020年4月期第3四半期	13.06	12.65

※EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却）

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	6,471	6,336	97.9
2020年4月期	6,408	6,182	96.5

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 6,335百万円 2020年4月期 6,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年4月期	—	0.00	—		
2021年4月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年4月期の業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	10.1	230	△49.9	220	△45.6	150	△41.3	10.03

(参考) EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却） 2021年4月期（通期） 290百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年4月期の業績予想には、現時点で当社が入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を見込んでおります。詳細につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、今後の感染症の収束状況によっては、業績予想を変更する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期3Q	15,021,582株	2020年4月期	14,917,428株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	—株	2020年4月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期3Q	14,929,624株	2020年4月期3Q	14,119,907株

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「驚きを心に」をコンセプトとして、人々の生活が便利に楽しくなるように、人工知能(AI)を活用したサービスをBtoCおよびBtoB領域で展開しております。

当社が属するAI市場では、ディープラーニング等の機械学習関連アルゴリズムの高度化に加えて、機械学習に利用可能な計算機の能力向上やデータの増加により、更なる成長が続いております。AIソフトウェアビジネスの全世界市場規模については、2018年は101億ドルとなっておりますが、2025年には1,260億ドルに達するとの調査結果もあります(出所:Tractica, Artificial Intelligence Market Forecasts, 4Q 2019)。また、我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による経済活動の鈍化等に伴い、国内外において景気が失速するなど、先行きが不透明な状況が続いております。情報サービス業界においては、在宅勤務等による商談機会減少の影響や、顧客によるIT投資予算の削減等のリスクが懸念される一方で、顧客企業のデジタルトランスフォーメーション推進によって需要が拡大する可能性があることを認識しております。

このような環境のなか、当社のAI(BtoC)サービスにおいては、全国的な外出自粛影響による巣ごもり需要の活性化やイベント開催等の影響もあり、AIによるサポート機能等を搭載したスマートフォンアプリ「将棋ウォーズ」が引き続き安定した収益を上げました。AI(BtoB)サービスにおいては、当社のディープラーニング等の機械学習技術を集約したAIサービス「HEROZ Kishin」に関わる業務の標準化を続け、資本業務提携先をはじめとする様々な事業会社に「HEROZ Kishin」を拡販しておりますが、当第3四半期累計期間は、政府や東京都から発出された緊急事態宣言中に商談機会が減少したことによる影響が継続し、初期設定フィーの獲得に遅延が生じております。また、中長期的な成長戦略を実現するための先行投資によって、採用教育費等の販売費及び一般管理費が増加しております。売上原価においては、人材採用の強化による労務費の増加に加えて、AI(BtoC)サービスの売上増加に応じて課金決済手数料も増加しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,127,409千円(前年同期比0.5%増)となり、EBITDA(営業利益+減価償却費+敷金償却)258,083千円(前年同期比30.6%減)、営業利益215,074千円(前年同期比33.7%減)、経常利益206,670千円(前年同期比23.5%減)、四半期純利益140,701千円(前年同期比23.7%減)となりました。

なお、当社はAI関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績に関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ62,648千円増加し、6,471,511千円となりました。これは主に現金及び預金の増加242,779千円、売掛金の減少177,808千円があったこと等によります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ90,706千円減少し、135,416千円となりました。これは主に未払法人税等の減少90,967千円があったこと等によります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ153,355千円増加し、6,336,095千円となりました。これは主に利益剰余金の増加140,701千円があったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の業績予想につきましては、2020年6月12日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、同日公表の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が上半期末までに収束することで、当社の事業活動を含む、国内の経済活動が徐々に回復し、下半期には正常化することを前提としておりましたが、当第3四半期会計期間においては、同感染症への各種対策は一定の効果が見られるものの、2021年1月7日に一部地域で緊急事態宣言が発出される等、依然として収束時期等を正確に予測することが困難な状況が続いております。

当社では、上記の状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の収束時期等に関して前提を変更し、2021年4月期の下半期においても、同感染症による国内の経済活動への影響が継続し、当社の事業活動においても一定程度の影響が継続することを前提としております。ただし、現時点で入手可能な情報等を踏まえ、当該変更による当社の業績等への影響は限定的であると判断しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期等に関しては不確実性が高く、今後の同感染症の拡大状況によっては、業績予想を変更する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,562,719	5,805,499
売掛金	329,338	151,530
仕掛品	8,506	-
その他	34,962	33,590
流動資産合計	5,935,526	5,990,620
固定資産		
有形固定資産	131,714	160,000
無形固定資産	6,710	5,878
投資その他の資産	334,910	315,012
固定資産合計	473,336	480,891
資産合計	6,408,863	6,471,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,260	18,230
未払法人税等	101,765	10,797
賞与引当金	8,004	22,707
その他	96,091	83,680
流動負債合計	226,122	135,416
負債合計	226,122	135,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269,373	2,276,673
資本剰余金	3,036,644	3,043,772
利益剰余金	877,259	1,017,961
株主資本合計	6,183,276	6,338,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△536	△2,564
評価・換算差額等合計	△536	△2,564
新株予約権	-	252
純資産合計	6,182,740	6,336,095
負債純資産合計	6,408,863	6,471,511

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
売上高	1,121,828	1,127,409
売上原価	577,862	615,101
売上総利益	543,966	512,307
販売費及び一般管理費	219,344	297,233
営業利益	324,621	215,074
営業外収益		
受取利息	52	28
出資分配金	27	26
助成金収入	-	1,000
その他	-	6
営業外収益合計	80	1,061
営業外費用		
上場関連費用	22,972	-
株式交付費	22,113	-
投資事業組合運用損	9,540	9,465
その他	1	0
営業外費用合計	54,626	9,465
経常利益	270,075	206,670
税引前四半期純利益	270,075	206,670
法人税、住民税及び事業税	90,689	59,852
法人税等調整額	△5,064	6,116
法人税等合計	85,625	65,968
四半期純利益	184,450	140,701

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及び敷金償却は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
減価償却費	46,981千円	42,002千円
敷金償却	461	1,006

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はAI関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。